

一隅を照らす

学校教育目標 自ら学び考える生徒

心豊かでたくましい生徒 心身ともに健康な生徒

No.9 令和6年1月 9日(火)発行

上尾市立原市中学校長 洞派 英樹

TEL 048-721-0636

学校HPは「原市中学校」→検索

東京箱根間往復大学駅伝競走から学ぶ

校長 洞派 英樹

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、思いを新たにできたでしょうか。

「一年の計は元旦に有り」と言いますから、生徒の皆さんも今年一年の目標を見据え、実現に向けて努力しようと決意を新たにしていると思います。また、保護者や地域の皆様におかれましては、昨年と同様に学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

昨年の2学期の終業式では、「区切り」「けじめ」「切り替え」をしようという話をしました。年末から新年にあたって、どうでしょうか。「区切り」や「けじめ」をつけ、「切り替え」ができたでしょうか。この一年、原市中学生の家庭の安全と一人一人の大きな夢の実現を願っています。

そして3年生、高校入試まであと僅かとなりました。3年生全員が自分の目標を達成できるよう、入学試験という大きな壁を3年生のチームワークで乗り越えてください。今年は十二支でいうところの「辰(たつ)」年です。「辰」は天に向かって上昇している龍、昇り龍としてよく描かれます。勇壮果敢で勢い付いている様子を表しています。3年生への追い風になることを願っています。

さて、今や、新春の風物詩である『東京箱根間往復大学駅伝競走』。通称「箱根駅伝」。1月2日、3日の箱根駅伝を観た方も多いと思います。その歴史ある箱根駅伝の中でも私の記憶に強く残っているのが、2012年の大会です。この大会では2011年大会で準優勝になり、悔しい思いを経験し、2012年大会、見事優勝するという筋書きのないドラマを見せてくれた大学が特に印象的でした。以下に監督の著書である「その1秒をけずりだせ」の一文を紹介します。

11年度のチーム・スローガンは、「その1秒をけずりだせ」に決めた。21秒差で敗れ、選手たちと面談したなかで、「全員が1秒、1秒を大切にしていれば」とか、「21秒なら僕1人でもどうにかしたのに」などといった声が聞かれた。普段の練習から1秒を大切にする。ではそのために、何をしなくてはならないのか。一人ひとりが、チームのために動くことだ。(中略) 駅伝というのはチームの“和”である。“和”という言葉は、足し算でもありながら、雰囲気を表している。もちろん、個人の力が上がることでチーム力も上がるのだが、「仲間のため」という気持ちから湧き出る力はあると思う。それが駅伝力につながるのではないだろうか。(中略) 一瞬の喜びのために、日常の1秒さえも無駄にしないように、選手、マネージャーも含めて部員全員が貪欲に努力する。その思いから、「その1秒をけずりだせ」のスローガンを掲げた。

著者：酒井俊幸 「その1秒をけずりだせ」

この大学は、悔しさをばねに、まさに全員駅伝を実行しました。優勝という大きな目標を立て、それに向かい日々の生活を見直し、また、我慢を強いられる場面も多々あったことと思います。それでも凡事徹底を貫き通し勝ち取った優勝です。一人の失敗を全員でカバーし、全員のために個人を高めていくことも勝利への道のりでは大切なことです。

一つの目標にひた向きに突き進む努力は時に必要であり、今後の人生の荒波にも対応できる基礎を、原市中学生には失敗そして、成功体験を積み重ね、身に付けてほしいと思っています。

「努力」や「我慢」なんて時代錯誤に聞こえるかもしれませんが、生きる力として私は大切で、そして必要だととらえています。

令和6年。今年も、原市地域で児童生徒たちを温かく見守り育てていきたいと思っています。

1月の予定表 ※変更の可能性がります。予め御了承ください。

日	曜	主な行事予定等	備考	給食	部活動	清掃
				○×	○×	○×
1	月	元旦 学校閉庁				
2	火	学校閉庁				
3	水	学校閉庁				
4	木	学校閉庁				
5	金					
6	土					
7	日					
8	月	成人の日				
9	火	3学期始業式		×	○	×
10	水	3年第3回南部校長会テスト 1・2年上尾市学力調査 給食開始		○	○	○
11	木	専門委員会		○	×	×
12	金			○	○	○
13	土					
14	日					
15	月	2年実力テスト①～⑤		○	○	○
16	火			○	○	○
17	水	道徳朝会		○	○	○
18	木	ふれあいデー		○	×	×
19	金			○	○	○
20	土		児童生徒合同作品展(東小)			
21	日					
22	月	私立高校受験中心日		○	○	○
23	火	私立高校受験中心日 4時間授業 火③④⑤⑥		○	×	×
24	水	生徒朝会		○	○	○
25	木	中央委員会 第10回原市寺子屋		○	×	×
26	金			○	○	○
27	土					
28	日					
29	月	3年三者面談 3年4時間授業		○	○	○
30	火	3年三者面談 3年4時間授業		○	○	○
31	水	3年三者面談 3年4時間授業		○	○	○

【2月の主な行事予定】

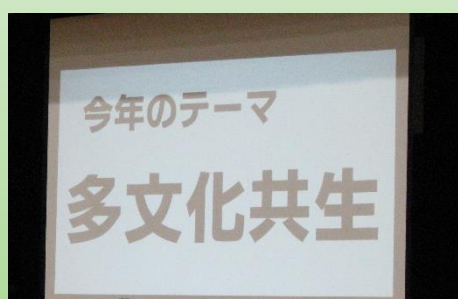
13、16日3年生期末テスト、21、22日県公立高校入学者選抜 28、29日1・2年生期末テスト

○原市地区地域学校保健委員会

1 2月6日（水）3年ぶりに対面形式で原市地区地域学校保健委員会を実施しました。テーマは「いきいき元気な原市の子どもたちを育てよう～成長期に必要な栄養を知ろう～」、(株) 明治の方に講演していただきました。今回は校区の保護者の方の参加に加え、2学年の生徒も参加させていただきました。自らの成長に必要な栄養素について学ぶ良い機会になりました。

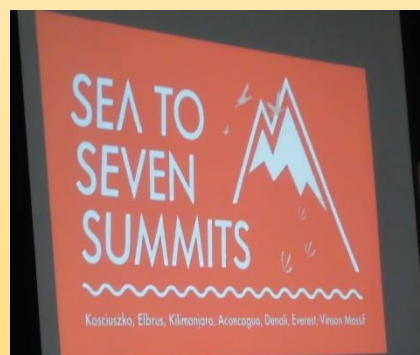
○人権講演会

1 2月7日（木）人権講演会を実施しました。テーマは「多文化共生を考える～外国人の方の視点から～」、上尾市役所協働推進課から派遣された外国人講師の方に来校していただき、外国人の方の視点で講演していただきました。多文化共生社会とはどのような社会なのか、自分に何ができるのか、何をすべきかについて深く考える機会となりました。



○ふれあい講演会

1 2月19日（火）ふれあい講演会を実施しました。テーマは「ゼロからハライチ・頂へ！世界へ飛び出してみよう！」、Sea To Seven Summits プロジェクト主宰者で冒険家の吉田智輝氏に講演していただきました。吉田氏は海拔0mの海岸線から山頂を目指す「Sea To Summits」の登り方で、七大陸最高峰「Seven Summits」を登頂するという前人未到の世界初の大冒険に挑んでいます。講演で「どんな高い山でも一歩進めば頂上に近づく」というとても前向きな内容があり、多くの生徒の心が動かされたようです。講演終了後の質問もたくさん出て、振り返り用紙いっぱい感想が記入されていました。





()

()

